

学校法人 東放学園  
専門学校東京アナウンス学院殿

## 2019年度 学校関係者評価委員会報告書

専門学校東京アナウンス学院  
学校関係者評価委員会

### 1. 学校関係者評価委員

#### 【関連業界】

山崎 謙 株式会社円企画相談役 一般社団法人日本芸能マネージメント事業者協会理事長

#### 【高校教員】

早川 信一 昭和第一高等学校 入試広報室 教諭

#### 【卒業生】

岩田 まこ都 株式会社シー・フォルダ

#### 【地域住民】

横倉 正志 一般社団法人社会資源再生機構理事長

#### 【保護者】

佐藤 和 放送声優科1年生保護者

### 2. 事務局

谷 誠 専門学校東京アナウンス学院 校長

船場 吉行 教務教育部 部長

川田 泰弘 学務管理部 部長

上野 浩一郎 学務管理部 主任

### 3. 学校関係者評価委員会の開催状況

2019年10月7日(月)17:00～19:30

専門学校東京アナウンス学院新宿研究所4階 403教室

### 4. 学校関係者評価結果

※別紙のとおり

※別紙

#### 4. 学校関係者評価結果

##### 【評定の内容】

- 4：適切に対応している。課題の発見に積極的で今後さらに向上させるための意欲がある。  
3：ほぼ適切に対応しているが課題があり、改善方策への一層の取組みが期待される。  
2：対応が十分でなく、やや不適切で課題が多い。課題の抽出と改善方策へ取組む必要がある。  
1；全く対応をしておらず不適切。学校の方針から見直す必要がある。

#### I. 2018年度重点目標について

##### 重点目標1.中途退学率の低減

コメント	評定
専門学校として、当然重視すべき事項として取組む姿勢が継続して見られている。	4

##### 重点目標2.進路決定率の向上

コメント	評定
進路の決定を専門学校の使命と位置付けており、継続して重視する姿勢が見られる。	4

##### 重点目標3.授業評価の改善と有効活用の模索

コメント	評定
単に学生から授業評価アンケートを取るだけでなく、これに基づく教職員による授業見学、実際の改善というサイクルを回していこうという取り組み姿勢は評価に値する。	4

##### 重点目標4.選択科目の再編と見直し

コメント	評定
選択科目を新たな可能性を開花させる科目として位置付け、プロジェクトチームを発足させて新規科目を立ち上げるなど、実行性が高い。	4

##### 重点目標5.留学生向け教育内容の改善・充実を図る

コメント	評定
学校の特性から、日本語によって芸術性のある表現をすることは必須である。従って言葉のハンディがある留学生を在学中にわたりサポートする体制があることは適切である。	4

#### II. 評価項目別取組状況について

##### 基準1 教育理念・目的・育成人材像

コメント	評定
学園の理念とそれに基づく教育方針を教育活動の根幹としており、教育に対する姿勢が一貫している。業界関係者の意見を取り入れる姿勢も見られる。	4

##### 基準2 学校運営

コメント	評定
理念に基づく教育内容とともに、堅実な運営方針も一貫している。	3

基準3 教育活動

コメント	評定
学科や学年の垣根を越えた取り組みや、無記名の授業評価アンケートを重視することで、ますます多様化する学生のニーズに応えようとする姿勢がみとめられる。	4

基準4 学修成果

コメント	評定
求人情報、オーディション情報とも増加傾向にある。在校生に対しては個別に手厚くフォローし、卒業生に対しても年齢の制限なくサポートする体制にある。	3

基準5 学生支援

コメント	評定
クラスアドバイザー制により学生一人一人に対して細かく対応しているとともに、学生が相談しやすい環境を整えている。学生のニーズを適切にとらえ、それに応えようとする姿勢がみとめられる。	4

基準6 教育環境

コメント	評定
学校の機材・設備は計画的に更新されており、教育上の環境は十分整備されている。また校舎の耐震工事を完了し、法令に従って備蓄品を確保するなど、防災に対する意識も高い。	3

基準7 学生の募集と受入れ

コメント	評定
募集活動は積極的かつ時期等は適切に行われていると評価でき、入学者は規程に則って適正に選考しているとみとめられる。	4

基準8 財務

コメント	評定
堅実な予算編成、運営方針により、全体の収入に対する教育研究経費比率および人件費比率は適正値をとっている。予算と決算に大きな乖離はなく、財務状況は健全であると評価できる。	4

基準9 法令等の遵守

コメント	評定
法令の変更などに応じて、学則、各業務規程を適宜整備するなど、法令順守には組織的に取り組んでおり、意識は高いと言える。	4

基準10 社会貢献・地域貢献

コメント	評定
社会貢献・地域貢献については、中高生の職業教育の受け入れ、中野区や中野警察、NPO法人に協力してのボランティアを継続して実施している。ボランティア活動については学生の幅広い参加を促すこと、留学生については特に現地での就職サポートを課題として意識している。	3

5. 所感

全体的に活発でオープンな意見の交換が見られた。今回は、早川委員、佐藤委員を新規の委員として迎えたが、両名とも積極的に発言、質問し、円滑で内容の濃い議事の進行に寄与した。
--

以上